

経営学部 リフレクションペーパー

2025 年度 <前期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 流通システム論Ⅰ（金曜2限・木曜6限の2クラス開講） 商学A（火曜5限、商学科1年a・bクラスの商業パートを担当、アンケートはbクラスで実施）
1. アンケート結果に対する総評 「この授業を受けて良かったと思いますか」という設問に対して、商学Aは 8.4、流通システム論Ⅰは木曜クラスが 9.1、金曜クラスが 8.9（いずれも 10 点満点の平均値）であった。商学Aについては昨年度と比べると若干評価は下がったものの、これまでと同様に概ね高い評価を得られたと考えている。なお、いずれのクラスにおいても授業時間外学習の分量について「適切」と回答する者が多数であった一方で、実際の予習・復習の時間は 30 分未満または 30 分～1 時間であった。このことは、受講者が時間外学習の必要性を必ずしも十分に認識していない現状を示しているものと思われる。
2. 授業を行う上で工夫した点、良かった点 これまでと同様に、SE やイラスト、映像資料の活用、講義内容に関連したアンケートの実施などの工夫を取り入れるとともに、全ての担当科目の授業録画を欠席者向けに Google クラウドで配信した。その他、特に工夫した点というわけではないが、授業時にレジュメを紙でも配布した。これについて、自由記述欄で「この授業の良かったこと」を尋ねる設問に対して、「レジュメを配ってくれるところ」「プリントを配ってくれて自分を書けるようにしてくれているところ。メモが取りやすいので内容を理解しやすい」などの学生からの意見があった。大学としてはペーパーレスの取り組みを推進しており、紙媒体でのレジュメ配布を行わない授業も増えているが、紙媒体に対する学生のニーズはいまだに高いことが推察される。
3. 今後の改善点 SE の音量についての意見が散見された。次期以降調整を図りたい。また、昨年度は実施していた授業 Q&A 集の作成・配信について、手間がかかるわりに受講者からの反応がほとんどなかったことから今年度は実施しなかった。その結果、今期は「質問や意見に教員は適切に対応してくれましたか」に対する評価点がわずかに悪化した。やはり何らかの質問対応の仕組みが必要であったかもしれないと反省している。その他として、「ピ逃げ（学生証で出席登録だけして実際には授業に出ないこと、作成者 補）をチラチラ見るのでたまに出席を取る等対策をしてほしい」という意見があった。私の担当する科目では出席回数は成績評価の対象でないことを繰り返し説明しているが、他の科目の中には、欠席回数の多い学生の定期試験受験を認めないなどの厳格な措置を講じているものもあるらしく、学生がシステム上の出欠データに過剰に神経質になっているようである。過去には実際に、他の学生から学生証を預かって一人で複数の出席登録をしている光景を目にして注意したことがある。個々の教員でも、あるいは学部としても、このような現状に対して何らかの対策を講じるべきと考える。
4. 学生へのメッセージ アンケートへのご協力、ありがとうございました。とりわけ流通システム論Ⅰ（金曜クラス）では、これまでにないほど高い回収率で回答を収集できました。あくまで「お願いベース」でのアンケート実施であるにもかかわらず、皆さんに協力していただけたことに感謝し、今後も引き続きさらなる授業改善に努めます。